

取扱説明書 使用前に必ずお読みください。（裏面もお読みください。）

このたびは、お買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みいただき、本書に従ってご使用ください。誤ったご使用をされた場合、重大な事故に結びつかれがあります。

このヘルメットは、厚生労働省が定める労働安全衛生法第42条の規則に基づく「保護帽の規格」に適合し製造されたもので、「飛来・落下物用」の型式検定合格品として「労・検」ラベルが貼り付けられています。

この規格は、飛来物または落下物から頭部の安全を確保する最低基準を定めたもので、絶対的な安全性を保証するものではありません。

このヘルメットには、飛来物・落下物の衝撃を吸収するため頭頂部に発泡スチロール（衝撃吸収ライナー）を設置していますが、墜落時保護用としての性能は備わっていません。

さらに、本製品は防災用途のヘルメットとして収納性を求めて折りたみ可能な構造としています。ご使用にあたっては最大限の注意を払い、常に安全にご使用ができるように、この取扱説明書に従ってご使用ください。

なお、お読みになった後は、本書を大切に保管してください。

警告、注意の意味と内容（安全上、大切なお知らせ）

⚠ 警告：守らないと保護帽の性能を損ない、生命または頭部に重大な傷害を及ぼすことを意味します。

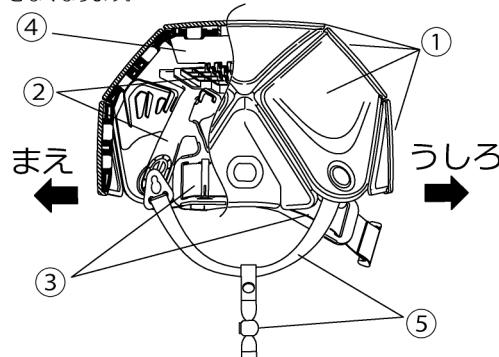
- 「飛来・落下物用」を示す「労・検」ラベルが貼り付けてあることを確かめてください。
- このヘルメットは、飛来・落下物用以外の使用区分では使用しないでください。
- このヘルメットをかぶつて原動機付自転車を含むオートバイに乗車することは絶対やめてください。保護帽は乗車用安全帽とは製造、設計、性能など目的と方法が全く異なります。
- 一度でも大きな衝撃を受けたものは、外観に異常がなくても性能が低下しているため、使用せず廃棄してください。
- このヘルメットに改造あるいは加工したり、部品を取り除いたりしないでください。保護性能が損なわれます。
- ヘルメット着用では、まっすぐ深くかぶり、あごひもを正しく締めてください。誤った着用をすると事故のとき保護帽が脱げて重大な傷害を受ける可能性があります。
- ヘルメットは使用環境や時間の経過により外観に変形等の異常が認められなくても、性能の低下が考えられます。使用期間内に交換してください。（購入後3年以内に交換してください。防災用用途の場合は6年以内に交換してください。）
- （注意：防災用とは、災害時などの非常時のみに使用するもので、労働安全衛生規則に規定する場所で使用するものではありません。）

⚠ 注意：守らないと保護帽の性能や機能に影響を与える頭部に傷害を及ぼすことを意味します。

- ヘッドバンドは頭の大きさに合わせて調節して確実に固定してください。
- 緊急時、直ちに使用できるように、事前にヘッドバンドのサイズ調整をしておいてください。また、常に保管場所を把握しておいてください。
- ガソリン・シンナー・ベンジン等の有機溶剤は帽子を劣化させるため、ヘルメットの清掃には使用しないでください。
- 夏季の自動車内や暖房器の近く等の50°Cを超える場所や直射日光の当たる場所に置くと、熱や紫外線により材質が変色したり、変質や変形を起こし、性能が低下します。
- 組み立てや折りたたむ際、帽子の隙間に手や指等を挟まないよう十分注意してください。
- 防災用用途として使用する場合、日常的に点検をしてください。
- 本製品は、収納性を考慮して設計した折りたみ構造の防災用ヘルメットです。産業用用途では通常（折りたみ構造でない）の産業用ヘルメットをご使用ください。

1. ヘルメットの構造と各部の役割

本製品は、帽子、着装体、あごひも、衝撃吸収ライナー等の部品により構成されています。これらの部品の一部でも性能が低下したり、または欠けたりしますと危険を防止または軽減することができなくなります。



番号	名 称	役 割
①	帽 体	頭部を覆う、硬いカバー(殻)体
②	着 装 体	ヘルメットを頭部に保持し、頭への当りを良くして衝撃を緩和する部品
③	ヘッドバンド	衝撃を吸収緩和するための部品(発泡スチロール製)
④	衝撃吸収ライナー	ヘルメットが脱落するのを防止するための部品
⑤	あごひも (耳ひも)	

2. 使用区分と機能

本製品は、飛来・落下物用として帽子の内側に厚生労働省の「型式検定合格品」を示す「労・検」ラベルが貼られています。「飛来・落下物用」は物体の飛来または落下による危険を防止または軽減するためのものです。

3. 使用前点検

- ① ご使用目的が、防災用途であることをご確認ください。
- ② 「ヘルメット点検・20のチェックポイント」によって点検し、少しでも異常が認められる場合は使用しないでください。
- ③ 構成している部品に異常が認められた場合は使用せず、直ちに新しいものと交換してください。

4. 着用方法

- ①帽子を「帽子の組み立て方」（裏面参照）を参考に完全に組み立ててください。
- ②帽子の「まえ」「うしろ」を確認していただき、まっすぐに深くかぶってください。
- ③ヘッドバンドは頭の大きさに合わせて調節して確実に頭に固定してください。（裏面図参照）
- ④あごひもは緩みがないようにあごの下でしっかりと締めてください。（裏面図参照）
- ⑤あごひもに付いているホックで着脱をしないでください。着脱を繰り返すとホックの保持力が低下して本来の保持性能が低下します。

5. 使用に当たっての注意事項

- ①本製品は、収納性を考慮して設計した、折りたみ構造の防災用ヘルメットです。産業用用途では通常（折りたみ構造でない）の産業用ヘルメットをご使用ください。
- ②本製品は、帽子を完全に組み立てた状態で頭部にかぶることで、本来の性能を發揮するように設計されています。組み立てが不完全な状態での使用や、頭部にかぶる以外の使用は重大な事故につながりますので絶対にやめてください。
- ③使用中は、あごひもを緩めたり、はずしたりしないでください。
- ④帽子にものを入れたり、腰かけたりしないでください。
- ⑤ご自身でヘルメットに塗装したりしないでください。
- ⑥ラベル、ステッカー、テープ等を貼付するときはアクリル系の接着剤を使用してください。
- ⑦溶接火花・薬品などによるやけどの恐れがある作業には使用しないでください。
- ⑧着用により皮膚にかぶれやかゆみを生じたら、直ちに使用をやめてください。
- ⑨使用環境温度は、-10°C～+50°Cです。この温度範囲の環境で使用してください。この温度範囲以外の環境で使用しますと、高温による変形をおこしたり低温による強度の低下をおこします。

6. 保守・保管

- ①帽子の汚れは必ず中性洗剤に浸した布を固く絞って拭きとり、きれいな水で洗剤を除去したのち、布で完全に拭きとってください。
- ②室内の直射日光の当たらない、風通しのよい場所に保管してください。（0°C～+40°C）
- ③本製品は、定期的（6ヶ月以内）に組み立てに支障がないか、または各部品に劣化等が生じていないか点検してください。合成樹脂・合成繊維製ですので自然劣化や高温・多湿の環境下で劣化が進むことがあります。

7. 点検（廃棄・交換）

本製品は、帽子、着装体（衝撃吸収ライナー）の全体のバランスによって保護性能を発揮します。衝撃や傷・磨耗、薬品、紫外線・高温や低温などは保護帽の強度を低下させますので、保護性能を確保するために《ヘルメット点検・20のチェックポイント》に従って日ごろから点検を実施してください。また、使用する際にも使用前に必ず点検をしてください。点検によって、少しでも異常が認められるものは使用せず、直ちに新しいものに交換してください。

8. 使用期間（耐用期間）

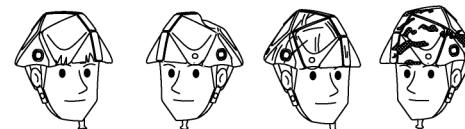
防災用用途として、購入後6年以内には交換をしてください。

（注意：防災用とは災害時などの非常時のみに使用するもので、労働安全衛生規則に規定する場所で使用するものではありません。）

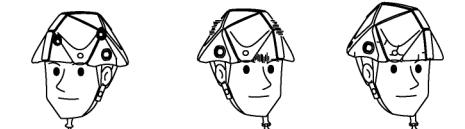
【ヘルメット点検・20のチェックポイント】（このイラストは異常な状態を分かり易くするため誇張して表現しております。）

廃棄基準

- ①縁に欠損又は亀裂のあるもの ②衝撃の跡が認められるもの ③すりきずが多いもの ④汚れが著しいもの



- ⑤メーカーがあげた以外の穴があいているもの ⑥表面がカサカサしたり粉を吹いている ⑦装着体取付け部に亀裂があるもの



- ⑧著しい変色が認められるもの ⑨帽子と着装体の取付け部に破損・滅失等があるもの ⑩変形しているもの



【衝撃吸収ライナー】

- ⑪熱、溶剤等によって変形しているもの ⑫著しく汚れているもの ⑬きず、割れが著しいもの



【着装体・あごひも】

- ⑭使用者が改造したものの ⑮ハンモックが伸び又は著しく汚れているもの ⑯縫い目がほつれているもの



- ⑰ヘッドバンドが損傷しているもの ⑯汗、油等によって著しく汚れているもの ⑱あごひもが損傷し又は著しく汚れているもの ⑲ハンモックが損傷しているもの

